

「大仙ふるさと博士」上級認定証贈呈式

26日(水)に多目的ホールで大仙ふるさと博士の上級認定証贈呈式が行われました。

小学校から積み重ねたポイントや中学校での挨拶運動やクリーンアップ活動、総合的な学習の時間のフィールドワークなどで獲得したポイントで70ポイント以上になった生徒が大仙ふるさと博士上級の認定証を教育長さんから贈呈していただきました。その後、蒼令学年の生徒を代表して2組の藤澤龍輝さんが感想を述べました。

教育長さんからは、これからも大仙市の伝統、史跡、文化財などに触れて大仙市への理解を深め、将来はふるさと大仙市に貢献できる社会人に成長してほしいというお話をいただきました。

これからも学校の活動、地域行事などに積極的に参加し、ふるさと大仙市に誇りをもてるようになってほしいと思います。



藤澤龍輝さんの感想

この一年間の活動の中で一番心に残っている体験は、総合のフィールドワークの時の職場見学です。

私が見学させていただいた施設は大仙魅力体験住宅、大曲煙火株式会社「響屋」、はなびアム、湯沢河川国道事務所大曲出張所です。私が立てた課題は、『なぜ大曲の人口が減ってゆくのか』でした。見学させていただいた施設で一番私の課題に合っていたのは大仙魅力体験住宅『YOUKOSO』です。そこでは、移住者の手助けをするために、宿泊させたり、相談を受けたりしています。見学の際には施設の紹介や大仙市のインフラの説明などもしてくださいました。『YOUKOSO』での体験が私の課題に合っていると思った大きな要因は、新しい考え方を見つけられたことです。それは、「人口減少が進んで大変だ、ではなく、人口減少が進む中で私たちのメリットを探す。」ということです。フィールドワークでの体験を通して、そのメリットが何かを考え、将来、よりよい大仙市をつくっていこうという思いを強くもつことができました。

大仙ふるさと博士上級 認証者

佐藤明日佳、須田優花、松井蒼空、磯治志、齋藤嶺音、細井杏桜、高階柊行、小坂涼太、魚住結花子、北村怜優、藤澤龍輝、石垣友貴、細井彩稀、嶋貫仁、伊藤理彩、木元心菜、高橋櫻